特定サービス産業・実態調査（葬儀業）

お葬式の費用134万円，拡大する市場規模

月遅れ盆を迎える８月です。葬儀ビジネスについて調べてみました。

全国の葬儀業者は，資本金５千万円以上の規模の大きな業者に集約化され微減している。茨城の事業所数は，140所と前回比23％増加しており，就業者数も1,344人と21％に増加している。特に，資本金なしの事業所が32所，５百万円未満45所，５百万円から３千万円未満57所になっている。資本金３千万以上は６所しかなく小規模経営が多い状況である。

売上高は，183億円で前回比12％増加している。売上高の全国順位は15位となっている。

売上高の内訳をみると葬儀一式請負収入が69％を占めている。次に飲食販売（精進落とし，通夜ぶるまい，生花，造花）が22％となっている。この飲食販売の売上構成比が全国の13％に比べ２倍近くあるのが本県の特徴となっている。

また，営業収益率は前回６％であったが，今回は１％と悪化している。これは事業所の増加ほど売上額や取扱件数が伸びず，競争が激しくなっているためである。今後，本県の葬祭業も全国の傾向と同じようにセレモニーホールや大駐車場を保有する資本規模の大きな事業者に集約されていくものと思われる。

また，17年の本県の死亡者は，25,955人である。このうち本県の葬祭業者の取扱件数は13,652件の53％である。残り12,303人は調査対象外となっている農協，生協などの相互扶助組織，町内会などの地域自治組織，寺院など宗教団体や県外流出，未回答業者の取扱などと考えられる。

都道府県別にみると事業所数では，東京の422所が１位で全国の10％を占め，群を抜いている。次いで神奈川(250)，北海道(221)の順で，本県は８位である。

葬儀１件あたり売上高をみると本県は134万円で全国平均の125万円を上回っている。

順位をみると１位が富山で174万円。次いで山梨(172)，栃木(165)，千葉(153)の順となっている。最も低いのは島根の67万円である。１件の葬儀費用が全国平均を上回るのは北陸・関東甲信越・東海地方で，近畿以南から九州にかけての西日本地域は全国平均を下回るという東西の地域的な特徴がはっきりと見て取れる。

表１　茨城県の葬儀業の推移

	茨　城　県		全　国
	平成14年（2002）	平成17年（2005）	平成17年（2005）
事業所数	114	140	4,107
就業者数	1,113	1,344	50,933
年間売上高（百万円）	16,399	18,362	891,418
葬儀一式請負収入	11,404	12,619	721,056
飲食・物品販売	2,414	3,964	117,787
その他の収入	2,581	1,779	52,575
年間営業費用（百万円）	15,382	18,177	866,804
年間葬儀取扱件数	12,131	13,652	710,402
１事業所あたり就業者（人）	10	10	12
１事業所あたり売上高（万円）	14,385	13,116	21,705
１事業所あたり取扱件数（件）	106	98	173
就業者１人あたり売上高（万円）	1,473	1,366	1,750
葬儀１件あたり売上高（万円）	135	134	125

＊　資料：特定サービス産業実態調査（経済産業省）
＊　事業所数などの数値は母集団でなく集計件数（回収率88％）